

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)   | 1年間の目標  | 取組の内容   |   |
|---|--------------|---|---|---|---|
|   |              |   |   | 具体的な方策  | 評価の観点   |
| 1 | 教育課程<br>学習指導 | <p>①生徒の進路希望や社会に繋がる幅広い履修機会を提供するとともに、主体的に学ぶ高い意識の定着と問題解決能力の向上のため、特色ある学校づくりを推進する。</p> <p>②課題解決に向けた探究学習の充実を図り、生徒の思考力、判断力、表現力を育む。</p>         | <p>①校務D×化を推進していく中で、ICTを利活用した授業研究に係る課題を教員相互で確認し、生徒の探究意欲を引き出す授業を実践する。</p> <p>②総合的な探究の時間における探究活動の取組みを一層深化・充実させる。</p>     | <p>①校務D×化を図りながら、生徒に必要なICT利活用を、職員の意見を集約して学習支援グループ及び企画会議で検証・検討する。また、相互授業見学等で授業改善の課題等について検討する。</p> <p>②深みのある課題を設定させることで探究活動を充実させるとともに、活動内容の発表後の振返りを通して新たな知見を見出させる。</p> | <p>①校務D×化をどの分野でどの程度推進することができたか。また、その計画を立てることができたか。相互授業見学や学力向上職員研修で課題について検討し、改善に向けた取組みを行ったか。</p> <p>②課題設定及び活動の振返りの方法をブラッシュアップし、探究活動を深化・充実させることができたか。</p> |
| 2 | 生徒指導<br>・支援  | <p>①組織的な相談体制を充実させ、生徒が安心して生活できるように支援するとともに、その社会性を高める。</p> <p>②部活動や委員会活動を通じて多様な他者と協働することで、集団活動を行う上で必要となること等を理解させ、行動の仕方を身に付けられるよう支援する。</p> | <p>①SC、SSW、教員によるカウンセリング及び相談を実施し、生徒や保護者のニーズに応えながら支援を継続していく。</p> <p>②部活動や委員会等において、生徒がコミュニケーションを図りながら他者と協働することを支援する。</p> | <p>①SC、SSW、教員が常に情報を共有しながら、組織的に生徒への支援を進めていく。また、教員への研修会を実施し、生徒理解の向上を図る。</p> <p>②生徒が中心となって、部活動や委員会目標、計画等を作成したり多様な他者と協働したりする場を設ける。</p>                                  | <p>①悩みを抱える生徒、保護者を適切に支援することができたか。また、研修会後のアンケート等で教員の生徒理解が向上したことを確認することができたか。</p> <p>②生徒が部活動や委員会において、生徒同士でコミュニケーションを図ったり他者と協働したりする場を設けることができたか。</p>        |
| 3 | 進路指導<br>・支援  | <p>生徒一人ひとりが自らの意志でキャリアをデザインし、それに基づく進路を実現することができるよう支援する。</p>  | <p>個々のキャリアデザインを確立させ、進路実現を支援する。</p>  | <p>ガイダンス等を通して自己理解を促す。また、必要な情報を効果的に発信するなどして、進路実現を目指す環境を整える。</p>  | <p>ガイダンス等により、個々の生徒がキャリアデザインを確立し、希望する進路を実現させることができたか。</p>  |

|   | 視点           | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)   | 1年間の目標   | 取組の内容   |  |
|---|--------------|---|--|---|--|
|   |              |   |  | 具体的な方策  | 評価の観点  |
| 4 | 地域等との協働      | 情報等を適時適切な頻度で発信するとともに、地域等と連携し、地域等と生徒、職員が協働して、より一層開かれた学校づくりを推進する。   | <p>①学校ホームページを有効活用し、最新情報を速やかに更新、発信することで、本校の教育活動を広く周知する。</p> <p>②-1 地域清掃や座間市、近隣住民と協力して実施する防災訓練などの内容を、生徒にとって「主体的、対話的で深い学び」となるように工夫し、生徒の活動を支援する。</p> <p>②-2 防災委員会及び美化委員会の生徒に地域連携活動に主体的に取り組むよう促す。</p> | <p>①ホームページ更新に係る講習会を適宜実施するとともに、各グループ等への必要な働きかけを丁寧に行い、ホームページ更新作業を適時こまめに且つ円滑に行うことができるようにする。</p> <p>②-1 地域の一員として、防災委員と美化委員を中心に地域清掃や防災訓練を行い、その取組みの様子をホームページに掲載する。また、コロナ禍で簡素化した行事や途絶えていた交流を復活させる。そのために、防災委員と美化委員が中心となって改めて近隣住民と意見交換等を行い、要望、課題、問題点等を共有しながら今後の協働活動について検討していく。</p> <p>②-2 防災委員会及び美化委員会に、防災訓練や美化活動の取組みについて具体的な方法を考えさせる。</p> | <p>①グループリーダーや部活動顧問に積極的な発信を促し、行事を含め本校の教育活動を地域等に周知するとともに、地域等と協働して教育活動に取り組む体制を構築することができたか。</p> <p>②-1 生徒が主体的に地域等に働きかけ、意見交換を行う機会を設けることができたか。また、お互いの要望、課題、問題点等を共有しながら、より現実的な防災訓練を実施し、地域協働活動を含めた防災計画などを立案することができたか。</p> <p>②-2 防災委員会及び美化委員会が具体的な取組みを立案し、実施することができたか。</p> |
| 5 | 学校管理<br>学校運営 | <p>①事故、不祥事の防止を徹底するとともに、安心で安全な学校づくりに組織的に取り組む。</p> <p>②本県の「働き方改革」に合わせ、効率的で合理的な働き方について研究し、その成果を教育活動に生かす。</p> | <p>①事故・不祥事案を起こさない。安全で安心な学びの場を提供する。</p> <p>②本県の「働き方改革」に関する指針を基に、本校における働き方改革の加速化を目指す。</p>  | <p>①不祥事防止会議、グループ会議等を通して、職員相互の事故・不祥事防止に係る意識を高める。また、経験年数の浅い職員に特化した校内研修を行う。</p> <p>②衛生委員会の改善意見等を参考に準備を進める。また、職員対象のアンケート調査を実施する。</p>  | <p>①月単位で、事故・不祥事案が発生していないかの振り返り及び事故・不祥事防止の徹底が成されたか。</p> <p>②衛生委員会で、業務改善に係る必要な検討を行うことができたか。また、実施可能な業務改善にアンケート調査の分析結果を活かすことができたか。</p>   |

